

パソコンいわくら教室新聞

今年は災害、大事故が相次いだとんでもない年明けでした。能登方面はまだまだ手つかずなどところも多く、報道を見るたびに心が痛みます。災害への備えは大事です。

現状を確認しよう

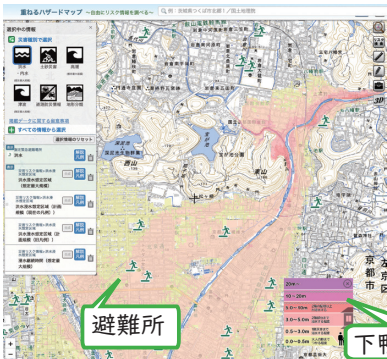
災害が起きてから「あたふた…」ではなく、どこのみち慌てるのは目に見えています。少しでも現状がわかっていると、少しはその後の行動にも活きるのではないのでしょうか。

まず、国や自治体が作成している「ハザードマップ」を確認しておきましょう。住んでいるところが災害の種類でどのような注意が必要かがわかります。国土交通省が作る「ハザードマップポータルサイト (<https://disaportal.gsi.go.jp>)」では、災害によってどのような被害が予想されるのかが色分けで地図上に表示されるようになっていきます。「洪水」「土砂災害」「津波」「高潮」など災害を選択して表示ができます。また、避難所の場合も確認することができます。(地図は鴨川水系での洪水状況です)

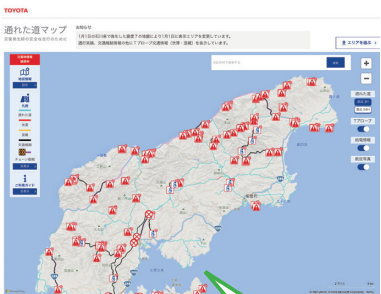
災害が起きてから慌てないように、予め自分の地区の地図を印刷しておくとういでしょう。また、各自自治体作成の情報ともリンクしており、様々な情報を参照することができます。

もう一つの心配事は道路状況です。どこで道路が寸断されており、どの道が通行可能なのか。そんなときにありがたいサービスが、トヨタ自動車提供している「通れた道マップ (https://www.toyota.co.jp/jpn/auto/possible_route/map/)」です。

トヨタ車向けの通信サービスから得た情報で作成されており、実際に車が通行した道路が青く表示されるようになっていきます。その他通行止めの情報なども様々表示されています。



下鴨付近の洪水のハザードマップ



今回での能登の情報

その他用意しておきたいもの

現状がどうなっているのかは、とても気になることです。テレビ、ラジオ、インターネット、新聞…。テレビ、新聞はさておき、ラジオやスマホなどは電源が確保できればなんとかなります。そのためにモバイルバッテリーをぜひ常備しておきましょう。常に充電がされていることが望ましいでしょう。バッテリーはモバイルの他、容量の大きいポータブル電源もあります。容量が大きい分、重くなりますし値段も高額になります。ただ、冷蔵庫など家電を動かすのにも使えます。

バッテリーがあっても、使い切ってしまう場合は充電が必要になります。が、災害時は停電していたり、使えても場所が限られていたり、ままならなかったりします。そこで活躍するのが、ソーラーパネルです。太陽が出ていれば発電が可能ですので電源が確保できます。その他にも焚き火を燃やして発電するものや、塩とマグネシウムの化学反応で発電するものなど、様々な製品があります。ぜひ合わせて備えておきたいものです。

ちなみに、バッテリーの容量が600Whのものでは、消費電力60Wの電気製品が10時間使える計算になります。(賢く計算しましょう)



起こらないことも祈りつつ、最低限備えておきたいものです。

教室のWebページは左記アドレスから、スマホ・携帯からは、QRコードからどうぞ。新聞バックナンバーもご覧いただけます。

<https://pc-iwakura.com/>

See you next month

